LIP in HIRAKATA

ＬＩＰ（りっぷ）は、枚方市民発の
福祉・教育・文化・環境・ボランティアなどの
情報を掲載する地域密着型情報紙です。

２０１８年１０月号

”福島わかもの国際交流キャンプ„　　海の向こうの国に、心のふるさとができた！（3ページに紹介記事）

- 言いたい放題！　アッキー28号（29）　　名医の一言
- 福島わかもの国際交流キャンプ
- 「無駄話」（2）　クリスタル硝子の灰皿
- 「うたかた話」（2）　アイヌ語のお話
- 今月の五行歌
- マンガ「明るい自閉症講座」3♪
- イベント紹介　　編集局より／ＬＩＰ配布場所／会計報告

「**ＬＩＰ編集局**」　http://www.love-dugong.net/lip/

連絡先

メールアドレス：lip@love-dugong.net

TEL：070-5653-6913(18時以降)

郵便振替口座　00920-8-120259（ＬＩＰ編集局）

LIPとは……Local Information Paperの頭文字をとったものです。

Ｉ先生は、御年八十代の児童精神科医。かつて自閉症の子を持つ親にとって、関西で「あの人あり」という評判の先生であった。

私の息子が自閉症と診断された頃には、Ｉ先生はもう第一線を半ば退かれ、「伝説のひと」となっていた。やがて息子が中学三年で高校受験を考えるようになった時、知人に紹介してもらって、Ｉ先生が所長を務める高槻の山あいにある診療所へ、私は息子と共に訪ねて行った。知的障害を持つ生徒も府立高校に入学して、健常の生徒と「共に学ぶ」。そんな運動の古くからの理解者であるＩ先生に相談にのってもらいたいと思ったからである。

新築されたばかりという診療所で、小さなこぎれいな診察室に通されて、穏やかなＩ先生の言葉に、息子はすっかりリラックスしていた。先生の質問には何も答えないけれど、にこにこと先生を見上げてうれしそうにしている。私自身、子どもの生育歴と現在の様子を語るなかで、Ｉ先生の放つ頷きの言葉、何気ない一言に、ほっとした。初めて会ったひとなのに、障害を持つ子を育ててきた私のこれまでの苦しみや葛藤を、とてもよく理解してくれている、「わかってくれる」と感じられた。五十年も生きているのに、そんな経験は私には初めてのことだった。

言いたい放題！　アッキー28号（29）　　名医の一言

それからしばらく、息子と共に、電車、バス、電車、バスと乗り継いで、最後は坂道を十数分歩いて診療所へ、二時間以上かけて、二か月に一度通うようになった。

山に向かって伸びる住宅街を通り抜けた先にあるＩ先生の診療所に、初夏から夏に通った時に二度夕立にあった。診察中にがらがらんっと大きな雷の音が鳴る。続いてざあっと大粒の雨が降ってくる。それ以来診察室で先生の前に立つと、「カミナリ！Ｉ先生!!」と息子はいつも言うようになった。「雷かい？」不思議がるＩ先生に、「以前こちらに来た時に雷が鳴った、それを言っているのですよ」と説明すると、カルテを繰って、「ほう。そうだね。〇月×日に、雷が鳴って『カミナリ！』と言った、と書いてある。よく覚えているんだね」と言って感心してくれた。自閉症の子には、ある場面にその周辺の景色の記憶が貼りつくようにして、覚えているというより、忘れられないということがある。そんなことは症例研究でよく御存じのはずなのに、まるで初めて出会う事象のように、「この子はそうなんだね～」とＩ先生は驚かれる。今、この場で、この子に、「出会って」くださっているのだなぁ。そんな風に感じられた。

Ｉ先生は障害の子を診察に連れて来る母親の愚痴も聞いてくれた。ある時私が、「子どもの行動について夫が腹を立てて、『お前の躾のせいでこうなった！』と私に怒るんです」と言うと、Ｉ先生は驚いて、「え？　ご主人は、お子さんの障害のことをわかってないの？」と聞いた。

「いや、もちろん、わかってますよ、でも……」と言うと、「現実を見つめる気力がないんだなぁ」とぽつりと先生は言った。そしてそう言った後で、（しまった！）というような顔つきをされた。その一瞬を私は見逃さなかった。

やがてＩ先生は、自転車で転んで骨折して入院された。退院後は引退されることになり、Ｉ先生の診療所への息子と私の通院は終わりになった。

名医という言葉を聞くと、Ｉ先生のことを思い出す。障害を持つ人やその家族のことをとてもよく理解してくれた、Ｉ先生。そばにいるだけで、心がほっとしたものだ。

Ｉ先生は知らないだろう。子どもの問題で私たち夫婦が口論になり、夫から激しい言葉を受ける時、Ｉ先生のとっさの一言が私の気持ちを支えてくれることを。

（著者プロフィール）　パート勤務の主婦。自閉症を持つ成人した息子がいます。市民活動、文化活動にも励んでいます。

海の向こうの国に、心のふるさとができた！

９月８日（土）大阪市淀川区の西中島センターにて、「福島わかもの国際交流キャンプ２０１８ in 韓国」大阪報告会が開かれました。会場では、同キャンプ主催者の水戸喜世子さんの挨拶の後、1時間の記録映像を鑑賞、その後郡山から駆け付けた高校生を含む、４人の若者からの報告を聞きました。

「福島わかもの国際交流キャンプ２０１８ in 韓国」は、８月15日（水）から22日（水）にかけて開催、福島県在住及び県外避難者の中学生、高校生、大学生の計８人の若者が参加しました。姉妹で参加の２人以外は初対面どうしの若者たちは、引率のおとな３人と共に羽田の宿舎で一泊した後、羽田空港からソウル・金浦空港へ。まず韓国の東側にある海沿いの町、サムチョクを訪れました。サムチョクは、原発建設を退けた町として有名です。「原発白紙化記念碑」の近くに記念植樹をした後、三度にわたる原発誘致と核廃棄物処分場への反対運動の映像を鑑賞し、現地の人たちの話を聞きました。夜は海辺のテントや民泊で、現地の若者たちと交流。夜遅くまで日本語と韓国語を教え合ったり、海水浴やボート遊び、天然の洞窟を見学して、美しい自然を楽しみました。19日にはソウルに移動して、青少年気候変化訴訟団キャンプや、クリキンディセンター（フリースクール）の若者たちと交流。21日には、朴元淳ソウル市長と面会。最終日の22日には、「自力で行くことができる北朝鮮に一番近い場所」である臨津閣（イムジンガッ）と、川を挟んで対岸に北朝鮮の町を見ることができる烏頭山（オドゥサン）展望台を訪問、今まさに歴史の転換点にある場所を韓国の若者たちと一緒に自分たちの目で見てきました。

帰国する時には「帰りたくない」と悲しくなるほど、充実した８日間だったと若者たちは語ります。原発事故の後周囲にわかってもらえないこと、思い切って話せないことがいっぱいあった。そんな中で、キャンプで出会った韓国の若者たちは、自分たちの話を真剣に興味を持って聞いてくれた。国が違っても、人と人として、つながり合える友ができた。政治に対して関心を持ち自らも行動を起こしていくような韓国の若者たちの姿に驚いた。自分たちもできることをしていきたい。とても楽しかった。絶対また行きたい。――若者たちが瞳を輝かせて語る言葉を、胸をあつくして聞きました。

（ＬＩＰ編集局　豊髙明枝）

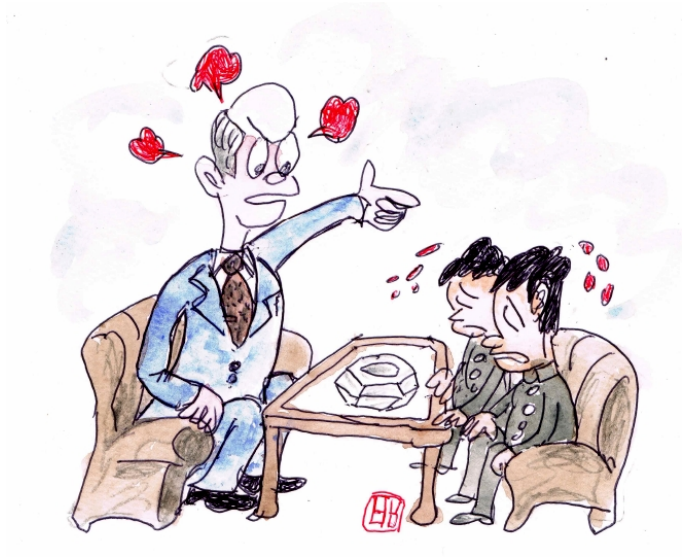
写真：福島わかもの国際交流キャンプ提供

「無駄話」（２）
クリスタル硝子の灰皿

最近は禁煙が厳しくなり、灰皿はあらゆる場所から姿を消しつつある。私には灰皿に関する忘れられない思い出がある。

終戦後、６・３・３制の学校教育が施行され、旧制中学５年の私は新制高校３年の１期生となった。実父と和解していた私は、西宮の実家に戻り、兵庫県立芦屋高校に転校した。当時、芦屋高校は戦災で校舎を焼かれ、阪神芦屋川駅近くの宮川小学校の校舎を借りていた。河内の暴れん坊が多い富田林高校と違って、生徒たちは何とも大人しく、上品で、群れて騒ぐこともなく、黙々と勉学にはげむ風潮があった。この様な所で、河内弁丸出しの私に友人が出来るはずがない。日々が退屈で、息詰まる雰囲気がたまらなく嫌であった。

そんな或る日、Ｔというばんから風の転校生が入ってきた。尼崎工業高校から来た彼と私は急速に親しくなった。色々話している中に、彼はとんでもない趣味を持っていて、既に１００個を超える灰皿を集めていることを知った。彼の話では、店の名前が入った灰皿であれば、黙って持ち帰っても罪にならないとの事だった。その真偽は知らないが、私は灰皿収集に全く興味を持っていなかった。



彼と知り合って１か月ほど経った日の下校時、二人で芦屋川駅前の小さな喫茶店に入った。蝶ネクタイを締めた４０歳くらいのマスターが淹れるコーヒーは、薄かったがまずまずの味だった。１時間ほどだべってから、Ｔは机の上の灰皿を鞄に押し込もうとした。それは素早い動きだったが、マスターの視線はＴの動きを捉えていた。

「噂に聞く灰皿泥棒はお前たちか？」と言ってマスターは私達の面前に立ちはだかった。

運悪くその灰皿には店の名前が無く、それは１０円を入れると富くじが出て来る高価な代物だった。

「お前らは芦屋高校だな。見逃してやるからこの紙に名前を書きなさい」

マスターが穏やかな声で言ったので、やや安心して二人は名前を書いた。何のために記名を求めたのか考えもしなかった。

翌日、登校すると校門の前に受け持ちの教師が待ち構えていて、二人はいきなり校長室に引っ張り込まれた。Ｔは激怒したが後の祭りであった。校長に引き渡され、延々１時間余りも説教された。校長室を出てきた時の、Ｔの鞄が異様に膨らんでいるのに気付き、訊いてみると、校長室の灰皿を鞄に入れてきたとのことで、私は驚愕した。

それから２８年後、全く音信の途絶えていたＴと、梅田の雑踏の中で偶然出会った。以下はその時のＴとの会話である。

「久しぶりだな、今、どうしてる？」

「高校の教師やってるんだ」

「君が高校の教師とは意外だな。……で、その年だから教頭か校長だろうな」

「校長だよ」

「それはそうと、あの校長室から君が持ち出した灰皿はどうなった？」

「つまらんことを憶えとるな。あれは返しておいた。只の硝子ではなくてクリスタル硝子だからな」

「へえー。わざわざ返しに行ったのか？」

「わざわざ返しに行くもんか」

「そりゃあそうだよな。……で、どこの校長をしてるんだい？」

「兵庫県立芦屋高校さ……」

「……」

文／画　鶴島昭雄

うたかた話（2）アイヌ語のお話

前回は金田一京助先生の「アイヌ語」研究の話とか、アイヌ民族のお話や、枚方にもアイヌ語の地名が残っていると言う様なお話をしました。北海道アイヌ語は独立した言語であり、消滅危険度において極め手作り深刻な言語と評価されています。今回も前回に続いて大友幸男著の「日本縦断　アイヌ語地名散歩」を中心にお話をしたいと思います。

北海道の地図を開きますと総てと言っても良いほど殆どが「アイヌ語」で出来ています。

「札幌」「幌内」「稚内」「小樽」「知床」「苫小牧」「富良野」「真駒舞」「室蘭」「紋別」等数え上げればきりが有りません、殆どがアイヌ語による地名であり、当て字を使って書かれています。

我々は北海道の地名の殆どがアイヌ語で、漢字は当て字で書かれている事を知っていますからそれ程奇異には感じませんが、先入観念を持たずにこれを読んでいますと何か「万葉仮名」で書かれた文を読んでいる様な気がします。

それが大友幸男著の「日本縦断アイヌ語地名散歩」に依りますと北海道だけでは無く本州にも多くアイヌ語の地名が残されています。基本的には東北地方に多いのですが、関西にも有ります。その例を挙げてみますと、

「厚木（あつぎ）」…神奈川県厚木市、「気仙沼（けせんぬま）」…宮城県気仙沼市、「小千谷（おじや）」…新潟県小千谷市、「須磨（すま）」…神戸市須磨区、「釜石（かまいし）」…岩手県釜石市、「日光（にっこう）」…栃木県日光市、「當麻（とうま）」…埼玉県、「當麻」（たいま）」…相模原市南区、等数え上げていけば切りが有りません。

現在はっきりしている地名だけを挙げても日本列島にこれだけ広くアイヌ語の痕跡が見られますのは、北方のアイヌ民族が広く日本列島に住んで居たのでは無いかと思われます。

「當麻（たいま）」の地名は奈良県にもあり、奈良県の「當麻」は「當麻寺」の所在地で當麻の地名は古く西暦 700 年代には當麻と言われていたと書かれて居り、歴史的にはいろいろと書かれています。

話はそれますが當麻寺は七世紀に創建された寺院で「二上山當麻寺」と称される創建時の本尊は「弥勒仏」で金堂に安置されています。宗派は高野山真言宗と浄土宗の並立となっています。開基は聖徳太子の異母弟・麻呂古王とされていますが、創建については不明な点が多くあります。

當麻寺で有名なのは中将姫の「曼荼羅」のお話です。

この曼荼羅は「観無量寿経」にもとづいて制作された、極楽浄土の姿を描かれたもので、1254 年（建長 6 年）成立の「古今著聞集」には

『中将姫は意地悪な継母に虐められ、ついに無実な罪で殺されかけましたが、従者は一心に読経をする姿を見て、姫を「ヒバリ山」という所に置き去りにして帰りました。その後姫は許されましたが、都へは帰らず當麻寺で出家して、ひたすら極楽往生を祈りました。一心に極楽往生を祈った姫は蓮の糸を井戸の浸すと五色の糸となり、その糸で一夜に「極楽」の曼荼羅を織り上げた、と言われています。』

と書かれています。この話は有名で後の世阿弥や近松門左衛門によって脚色され、謡曲や浄瑠璃、歌舞伎で上演されました。

話はアイヌから逸れましたが、日本語の中にも外来語が多くある様に、アイヌ語の中にも外来語が有ります。それの多くは古朝鮮の言葉です。現在アイヌ語だと思われている言葉でも、その昔何処からかアイヌに伝わって来た言葉が有ります、それをしっかり区別するのも大切です。今後もこのあたりの事を十分に注意しておかないと間違った解釈になってしまいます。アイヌ語には字がありません、現在アイヌ語は日本の「かな」、「漢字」を使って表記しておりますが、今後はアイヌ語を世界の一つの言語として捉えて日本の文字に当てるだけで無く、世界の北方民族の言語として、アイヌ本来の姿を先輩たちの研究成果の上に乗っかって考えていく必要があるのでは無いでしょうか。

今回は大友幸男著「日本縦断　アイヌ語地名散歩」の他 PC の Wikipedia のお世話になりました。

「おわり」

小田川徳男

ＬＩＰが選ぶ

今月の五行歌

満月に
一段と映える
虫の声
素晴らしいハーモニーは
心地よい子守歌

井上親子

あなた何様
優しく抱かれ声掛けられ
強面の人を
笑顔にさせ
「ワン」と鳴くなんて

ふわり

退職して一週間と一日
今日は風呂場が
ぴかぴかになってた
働き者だね　父さん
ありがとう

桑本明枝

五行歌（ごぎょうか）とは……五行で書く短い詩。字数や季語などの制限はなく、自分のおもったこと、感じたことを、そのまま言葉にして書きます。枚方では、五行歌ひらかた歌会(連絡先：090-5893-5635)が、月一度、歌会を行っています。その作品の中から、ＬＩＰ編集局が「気になるうた」を選びました。

明るい自閉症講座（３）

作　くろねこ七桜

イベント情報

「枚方自閉症児(者) 親の会」
１０月例会

✱日時　10月29日（月）
10時～12時
✱場所　ラポールひらかた
4階共用ルーム
✱連絡先
松崎 072-945-3014
鬼塚　072-841-3515

多文化にふれる　えほんのひろば　２０１８
～出会ってわくわく！いろんなおはなし！
世界のいろんなおともだち～

■日時：11月17日11時～16時
18日11時～15時30分
■会場：大阪市立中央図書館
（大阪メトロ西長堀駅７番出口）
■主催・連絡先：
ＮＰＯ法人おおさかこども多文化センター
osakakodomo.ehon@gmail.com
■参加無料　入場出入り自由
約23言語・750冊を展示、自由なスタイルで絵本を楽しめます。17日には、多言語での読み聞かせ、18日にはお話を音楽で西アフリカを感じるワークショップ。両日とも、多言語で楽しめるデジタル絵本の紹介、世界の文字で名前をかいてみよう！　「ありがとうの木の下で、世界のおともだちと出会おう」

イベント・サークル・ボランティア情報

シンポジウム
枚方の図書館はどこから来て、どこへ行くのか？！

◆日時：１０月２８日(日）１３時３０分開始（受付１３時～）
◆場所：枚方市民会館１階　第３、４集会室
◆講師：渡辺義彦さん(元枚方市立楠葉公民館・津田公民館館長)
◆パネラー：
　巽照子さん（元東近江図書館長、日本図書館協会理事）
　手塚隆寛さん（枚方市議会議員）
　駒木根淑子さん（香里ヶ丘の図書館を見守る会）
◆主催：枚方の図書館行政を考える会
　　香里ヶ丘の図書館を考える会
　　枚方の図書館をよくするぞうの会
歴史ある枚方の図書館、今、様々な変化が起きています。これまでもこれからもみんなの図書館として活躍しさらに発展させていくにはどうすればいいのかおおいに語り合いましょう。
連絡先：井上 090-9166-2970　駒木根 090-3820-6803

福祉・介護を考える　すずらんまつり

■日時：10月21日（日）午前11時～午後3時
■会場：楠葉中央公園（雨天時　楠葉生涯学習センター）
■参加費：無料
赤ちゃんからお年寄りまで一人ひとりが大切にされる社会
「平和」は最大の福祉・・憲法生かして福祉優先の社会
参加者がつながる楽しく交流できる場

ステージ（うた・えんそう・おどり等）　模擬店（たべもの・のみもの　いろいろ）　バザー(手づくり品･リサイクル品　持ち込み大歓迎）　展示（いろんな市民のいろんなことを）　相談コーナー（成年後見人・認知症・相続など）
■主催・連絡先
「すずらんまつり」（福祉・介護を考える）実行委員会
０９０－９７０５－５９２１（松田久子）
事務局　枚方市楠葉野田２－５９－１６

いいお産の日（１１月３日）「玄牝」上映会 in 枚方

「生まれてきて、ありがとう」誰もがそう想われて生まれてきた。
愛知県にある吉村医院では、そうしたお産のために薪割りをしたり、壁拭きをしながら同じ想いを持つ妊婦仲間とともに楽しく過ごし、「その日」を待つ。
妊娠を機に、夫婦関係、親子関係と向き合い、融和していく様を河瀬直美監督の視点によりとらえ、田舎の美しい風景とともに映し出される、ドキュメンタリー映画。
◆日時：１１月３日（土祝）
◆場所：牧野生涯学習市民センター　３Ｆ　ホール
◆料金：大人　前売り　１，０００円　当日　１，５００円
　　中高生　５００円　小学生　１００円　未就学児無料
＊前売り希望の方は、大人のみ、予約願います。
　小中高生は当日お支払いください。
前売り予約、問合せ：電話：070-5437-1576
　　メール：info@luna-sola.com
　　ビジョンヨガ枚方　伊東明子まで。
同日開催ワークショップあり。「いいお産の日　枚方」で検索！

＊＊無添加石けん商品・手作り作品販売のお知らせ＊＊

・バザー　10/12(金)・11/7(水)
　市役所前の岡東町公園にて　10:30～
・廃油回収　10/16(火)
　牧野生涯学習市民センター玄関前にて　10:30～12:00
・廃油回収　11/20(火)
　南部生涯学習市民センター玄関前にて　10:30～12:00
・減量フェア　11/4(日)：穂谷川清掃工場にて　10:00～
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
障害者労働センター　枚方市中宮山戸町10-12-101
TEL072-848-0508
ネットショップ　URL:http//paso0508.cart.fc2.com

第36回 北摂「障害」のある子どもの高校進学を考える学習会
「聞いてみよう！　障害のある子の受験体験と高校生活」

■日時：2018年10月20日（土）13：30～16：30
■場所：池田駅前南会館４号室（阪急池田駅直結のサンシティ池田２階）
■主催：「障害」のある子どもの教育を考える北摂連絡会
　共催：ライフサポートネットワークいけだ
■問合せ：鈴木 090-9166-5575　詫間 090-1712-7990
　　ＦＡＸ 06-6840-1622
　　メール suzulann-rin-4842@softbank.ne.jp
■参加費：無料（資料が必要な方は資料代３００円）
“重度”といわれる「障害」のある生徒も、テストで点数をとるのが難しい生徒も、普通高校に進学し、他の生徒たちとともに学んでいます。みんな、どんな受験をし、高校生活を送っているのでしょうか？　この春、府立高校に入学したご本人たちと、その父母等の「関係者」から、具体的な話が直接聞けます！
※手話通訳あり
※終了後、個別進路相談会を行います。

音楽でリフレッシュ！＆夢SANSAN　おさらい会
今　歌えることに喜び　感謝して

◆日時：10月11日（木）13：30開演（13：00開場）
◆場所　枚方公園青少年センター　３階ホール
◆入場料：無料
◆内容：音楽でリフレッシュ！＆夢SANSANによる合唱　ハンドベルの生演奏。ヘルマンハープアンサンブル　絵本ライブピアノ独奏
◆問合せ先　音楽でリフレッシュ！(担当：中嶋)
　　ＴＥＬ：０７２－８４０－５４９３

満　員　御　礼

2018.9.2（日）枚方市民ミュージカル
「ひらかっぱちゃんの夏休み」

大勢のお客様に観ていただきありがとうございました！
ホームページhttp://www.fakikaku.com/で舞台写真を掲載中です、公演の名残をお楽しみください♪

LIPは、次の場所に置かせていただいてます。

☆ 各生涯学習市民センター・図書館・メセナひらかた 3F ウィル・ひらかたNPOセンター
☆ 枚方市ボランティアセンター ［ラポールひらかた内　072-841-0181］
☆ 子ども家庭支援センター ファミリーポートひらかた ［枚方市招提南町 2-50-1　072-850-4400］
☆ コミュニティーカフェ ラ テール ［枚方市西禁野 1-3-27 禁野口バス停前　072-848-0418］
☆ NPO法人 りりあん ［枚方市長尾元町 6-39-15　lilian@kcat.zaq.ne.jp］
☆ 婦人洋品店 シャルム ［枚方市南楠葉 1 丁目 2-16 くずは公民館向かい　072-850-1362］
☆ 喫茶 Dik Dik ［枚方市岡本町 8-17　072-846-5377］
☆ 街かどデイハウス 藤阪愛逢 ［枚方市藤阪元町 2-27-1　072-855-6978］
☆ 枚方市地域包括支援センター社協こもれび ［枚方市南楠葉 1-30-1 エクセレント辻ビル 203 号室　072-856-9177］
☆ 泉屋 楠葉店 ［枚方市楠葉並木 2-2-2　072-868-3060］
☆ WAVE34(ボウリング場) ［枚方市田口 4-11-8　072-848-0450］
☆ 身体障害者共同作業所 キッズ枚方コミュニケーションズ ［枚方市堤町 2-1-103　072-861-6360］
☆ 京阪総合会計事務所 ［枚方市西禁野 2-4-17 第5松葉ビル 301　072-805-5252］
☆ ヘアースタジオぱぺぽ ［枚方市南楠葉2丁目 4-3　072-850-9070］
☆ 枚方市役所(市民活動課・環境総務課・人権政策室) ［枚方市大垣内町2丁目 1-20　072-841-1221］
☆ 枚方市役所 津田支所 ［枚方市津田北町 2-25-1　072-858-1502］
☆ (財)枚方市文化国際財団 ［枚方市岡東町 8-33 市民会館内　072-843-1122］
☆ 枚方市総合福祉センター ［枚方市津田東町 2-26-1　072-858-5835］
☆ (社福)やなぎの里 精神障害者通所授産施設 ぱぴるす ［枚方市大字尊延寺 2200　072-859-0245］
☆ NPO法人パーソナルサポートひらかた ［枚方市中宮山戸町 10-12-105　072-848-8825］
☆ 自閉症療育センター Link ［枚方市岡東町 24-10 アイエス枚方ビル3階　072-841-2411］
☆ 紅茶専門店VIE ［枚方市南楠葉 1-1-34　072-856-2355］
☆ shot bar カボチャソース ［枚方市牧野下島町 14-22　072-809-7676］
☆ ポパイ商店 ［枚方市山之上2丁目 16-9　072-846-7232］
☆ えほんのお部屋ひまわり畑 ［枚方市香里ケ丘 12 丁目 6-28　090-6739-7064］
☆ クッキー工房おれんじはうす ［枚方市交北3丁目 3-10　072-856-8378］
☆ 陶器食器のお店 a new sprout ［枚方市堤町 2-14　072-846-9550］
☆ 雑貨／カフェ ルポ・デ・ミディ ［枚方市堤町 10-12　072-843-1525］
☆ 渦潮ベーカリー楠葉店 ［枚方市町楠葉 1-30-6　072-856-5420］
☆ 輝きプラザ「きらら」 ［枚方市車塚 1-1-1］
☆ 教育文化センター ［枚方市磯島北町 37-1　050-7102-3150］
☆ 三代目たくちゃん ピーコ ［枚方市牧野阪2丁目 7-30　080-3785-1728］
☆ MIKIHOUSE キャラメル ［枚方市牧野阪 2-9-15-105　072-857-6626］
☆ 株式会社 丸天酒店 ［枚方市牧野阪 2-5-23　0120-39-7003］
☆ MogaJogaDining 枚方宿 ［枚方市堤町 2-15　072-846-3535］
☆ カフェレストラン風鈴火山 ［枚方市牧野阪 2-5-19　072-856-3799］
☆ とくふうホーム ［枚方市大字尊延寺4592−24　072-858-4058］
☆ 音楽療法スペース　ウッドヴィレッジ ［枚方市牧野下島町 9-12　070-857-3540］
☆ みんなでつくる広場「ちょこっと」 ［枚方市楠葉野田 2-30-8　072-856-9439］
☆ スパバレイ枚方南 ［枚方市津田山手 1 丁目 24-1　072-808-4126］
☆ やすらぎの丘霊苑 ［枚方市大字尊延寺 4588 番 4　072-896-1212］
☆ 苺のいえ ［枚方市甲斐田町5番25号ウエストヒルズ102号 072-805-2660］
☆ ちいさいほいくえん みんなの里 ［枚方市楠葉並木 2-28-4　072-845-6814］
☆ 韓国茶が楽しめるカフェ「Cafe Cajjo」 ［西禁野 1-6-28　072-848-8481］
☆ くずはアートギャラリー ［枚方市楠葉花園町 15-1-Z302 本館ハナノモール 3 階］
☆ カフェ ル ポン ［枚方市高田2丁目 20-17　072-396-8785］
☆ 「市民の広場」ひこばえ ［枚方市大垣内町 2-8-27 シンエービル別館 A 室　072-846-8780］
☆ 街かどデイハウス秋桜 ［枚方市宗谷 1-1-1　072-859-3991］
☆ 明日花障害者作業所 ［枚方市西禁野1丁目 3-18　072-848-2324］
☆ 陽だまりの会 ［枚方市交北 2 丁目 7-15　072-809-0015］
☆ Lin Brun. ［枚方市牧野下島町 18-7　072-865-3514］
☆ カミュゥ ［枚方市牧野下島町 13-11　072-865-7310］
☆ Grand Table ［枚方市山之上 1 丁目 12−10　072-846-3808］
☆ 尊延寺公民館 ［枚方市尊延寺 3 丁目 3－16　072-859-0168］
☆ ひねもすぱんのかふぇ［枚方市堤町 10-24 鍵屋別館 1 階 090-5963-0590］
☆ まことの豆富 燈 本店 ［枚方市楠葉中町 1-5 072-855-6022］
☆ 雑貨&cafe くろねこ・くぅ ［枚方市片鉾東町 20-1　072-896-9690］

◇　◇　◇　◇　◇

☆ フレッシュベーカリー ラッキー ［寝屋川市早子町 18-1　072-821-0413］
☆ ヘアーサロンおおまち ［交野市私部 3-17-2 072-891-5024(予約優先)］
☆ 小規模通所授産所施設 ミルキーウェイ ［交野市天野ヶ原町2丁目 14-20］
☆ むく福祉会 ワークホーム れっつ ［綴喜郡宇治田原町贄田船戸 38-1　0774-88-5846］
☆ ベビーフェイスプラネッツ松井山手 ［八幡市欽明台北1 ソフィアモール内　075-982-3271］
☆ 「月桃の花」歌舞団 十三スタジオ ［大阪市淀川区木川西 3-4-20 2F　06-6885-8475］
☆ ふらっとねやがわ ［寝屋川市東大利町 2-14(市立産業振興センター5 階)　072-800-5789］
☆ ふれあいプラザ香里 ［寝屋川市香里南之町 19-17 フレスト香里園店1階 072-835-3335］
☆ 交野市役所内わいわいネット ［交野市私部 1 丁目 1-1］
☆ 和食「ふる里」 ［三重県伊賀市長田 2541-1 0595-21-4498］
☆ Cut wa Coconi ［交野市梅が枝 55-13 072-893-0020］
☆ 大阪府衛生会附属診療所 ［高槻市奈佐原 955　072-696-3351］
☆ 宇治田原社会福祉事務所 ［綴喜郡宇治田原町荒木天皇 2　0774-88-2394］
☆ 西宮男女共同参画センター ウェーブ ［西宮市高松町 4-8　0798-64-9495］
☆ 大東市立生涯学習センター アクロス ［大東市末広町 1-301　072-869-6505］
☆ フェルデンハウス北斗星 ［寝屋川市萱島東1丁目 16-15　070-5435-1965］
☆ 青年の家 ［交野市私部2丁目 29−1　072-892-7721］
☆ 大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)
［大阪市中央区大手前 1 丁目 3-49 06-6910-8500］

イラスト　表紙：平井由恵

応援よろしくお願いします♪

ＬＩＰ応援団

ＬＩＰはみなさんの応援で出来てます♪

ＬＩＰ会計報告（前号以降）

金額(円)	内容
33,992	前号から繰り越し
4,800	「戦争体験」本　売り上げ
▼420	郵送代
▼500	９月ロッカー代
▼4,120	９月号印刷代
33,752	計（次号へ繰り越し）

■今月号は、９月３０日に印刷・折り込み予定だったのですが、台風２４号のため延期。１０月４日に印刷することになりました。
　実際には、台風がゆっくり近づいてきたため、３０日に作業可能だった気もしますが、用心に越したことはないです。予想がはずれても、危険はない。予想があたればそれはそれでよし。なんでも、そういう安全対策が安心です。そんなところでギャンブルすることはないです。

■ＬＩＰは市民が伝えたいことを書き、市民が印刷し、市民が配布する地域密着型情報紙です。あなたも紙面に登場してみませんか？

『 少年期は戦争中だった 』
枚方市在住　鶴島昭雄さんの戦争体験　完全版
文・絵　鶴島昭雄
発行：ＬＩＰ編集局　　製本：とれぶ出版部
86ページ　手製本　頒価 500円(送料＋200円)

ＬＩＰ２０１５年１０月号から２０１８年６月号の最終回まで、ほぼ隔月掲載されたシリーズの全文章を掲載しています。

ひらつー
「枚方市民にだけ」
読んでほしい情報サイト
枚方つーしん　検索

次号（１１月号）は、１０月２８日（日）に発行予定です♪